

済生会 山形済生病院 薬剤部 医薬品情報管理室
ドラッグ・インフォメーション

ビグアナイド薬とヨード造影剤の併用注意

ヨード造影剤を使用する検査の場合、ビグアナイド薬は検査日の前後2日間は休薬する必要があります。

これは、ヨード造影剤の使用により、腎機能が低下し、ビグアナイド薬の排泄が低下することで、乳酸アシドーシスを起こすことがあるためです。他施設での治療薬も含め、検査前の確認が必要です。

- 休薬期間：検査の当日（ヨード造影剤使用日）と前後2日（計5日間）

2日前	1日前	検査日	翌日	2日後
休薬	休薬	休薬	休薬	休薬

●乳酸アシドーシス発生機序

ビグアナイド薬は、主に肝臓での乳酸やアミノ酸から糖が作られるのを抑制することで、血糖降下作用を示します。

何らかの原因により、乳酸の代謝や排泄のバランスが崩れると、血中の乳酸値が上昇し、血液が著しく酸性に傾いた乳酸アシドーシスになってしまう場合があります。

ヨード造影剤の使用により腎機能が低下することで、ビグアナイド薬の腎臓からの排泄も低下し、ビグアナイド薬の作用が強く出ます。その結果、血中に乳酸が蓄積し、血液が著しく酸性に傾いた乳酸アシドーシスになってしまう可能性があります。

●ビグアナイド薬一覧

ビグアナイド成分名	医薬品名（後発品名）	備考
メトホルミン	メトグルコ錠 グリコラン錠（メトホルミン）	単剤。 複数メーカーから後発品が発売されており、現在流通している物の大半は後発品である「メトホルミン錠」。
	メタクト配合錠 (2010年7月発売)	配合剤。 メトホルミン+インスリン抵抗改善薬 “キネダック”
	エクメット配合錠 (2015年11月発売)	配合剤。 メトホルミン+DPP-4阻害薬 “エクア”
	イニシンク配合錠 (2016年11月発売)	配合剤。 メトホルミン+DPP-4阻害薬 “ネシーナ”
	メトアナ配合錠 (2018年11月発売)	配合剤。 メトホルミン+DPP-4阻害薬 “スイニー”
ブホルミン	ジベトス錠	単剤。 現在流通量は少ない。



昨今、配合錠が増え、医薬品名からビグアナイド薬を推察することは難しくなっております。薬剤師への鑑別依頼をお願いいたします。